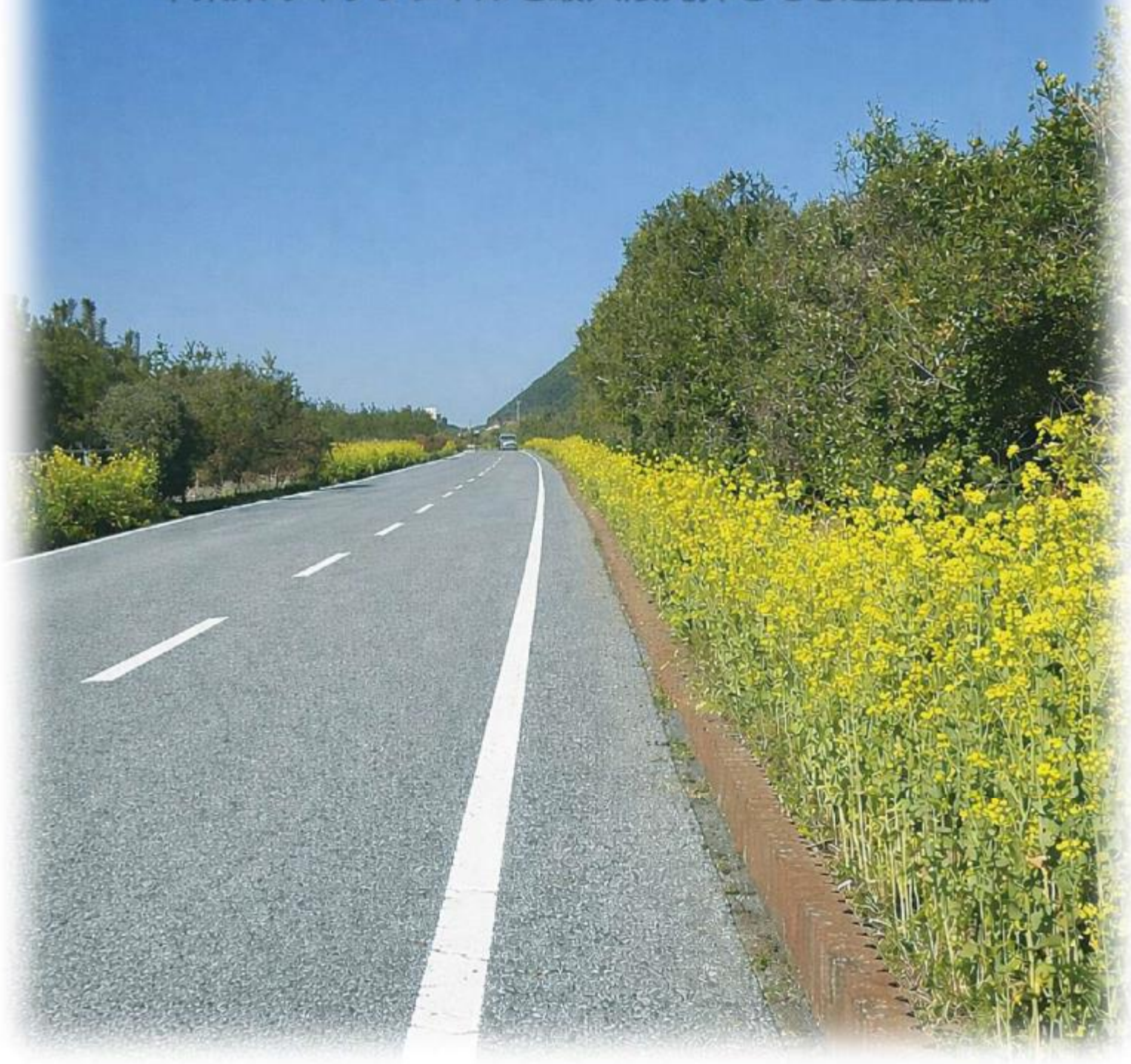


千葉県道路整備プログラム

千葉県のポテンシャルを最大限発揮させる道路整備



令和8年4月

千葉県県土整備部



目次

I. プログラムの概要

1 背景	…	I-1
2 目的	…	I-2
3 期待される効果	…	I-2
4 取り組む具体的な施策	…	I-3
5 プログラムの対象路線	…	I-6
6 プログラム期間中の開通見込み路線	…	I-7
7 整備を進める主な路線	…	I-11

II. 事業箇所一覧

1 千葉県全域を対象とした路線・箇所	…	II-1
2 県内各ゾーンの対象路線・箇所	…	II-4
1) 【東葛・湾岸ゾーン】	…	II-5
2) 【印旛ゾーン】	…	II-14
3) 【香取・東総ゾーン】	…	II-19
4) 【九十九里ゾーン】	…	II-22
5) 【南房総・外房ゾーン】	…	II-27
6) 【内房ゾーン】	…	II-31

III. 巻末資料

1 プログラム期間中に開通した路線	…	III-1
-------------------	---	-------

I. プログラムの概要

1 背景

千葉県内の高規格道路等は、着実に整備が進められており、2026年度に県内区間の全線開通が予定されている圏央道の整備により、「第二の開港」とも言うべき拡張事業が進められている（第3滑走路の新設等2028年度末完成予定）成田国際空港（以下「成田空港」という）とのアクセス強化を図るとともに、東京湾アクアラインと一体となって、東日本と西日本をつなぎ、さらには北関東や東北方面との広域的な幹線道路ネットワークが構築されます。

千葉県では、圏央道の整備効果を県内各地に波及させるため、銚子連絡道路や長生グリーンライン、都心と成田空港との新たなアクセスルートとなる北千葉道路、圏央道のインターチェンジにアクセスする国道、県道や、県境を連絡する道路の整備について、引き続き、強力に推進していく必要があります。

特に、東京方面からの玄関口に当たる県北西部では、人口の増加等に伴い交通需要が集中し、幹線道路等において慢性的な交通渋滞が生じており、域内の移動のみならず、首都圏の人・モノの流れのボトルネックにもなっていることから、早期に解消を図ることが重要です。そのため、渋滞の緩和に向けたバイパス整備や交差点の改良、鉄道との立体交差や連続立体交差事業についても計画的に進めていく必要があります。

さらに、未来を担う子供達を守る通学路の整備や、将来発生しうる大規模な地震や地球温暖化に伴う水害、土砂災害の激甚化等に備えた既存道路の耐震化や法面対策、老朽化対策、無電柱化等を推進し、県土の強靱化を図る必要があります。

こうした道路整備を計画的に進めることにより、千葉の持つポテンシャルを最大限に発揮させ、新しい千葉の未来を創ってまいります。

2 目的

平成30年6月の「千葉県道路整備プログラム」は、圏央道の全線開通に伴う効果を県内に波及させる道路や、成田空港とのアクセス強化に資する道路等を重点的かつ計画的に進めるためのプログラムを示したところです。

千葉県内では、令和元年9月の「令和元年房総半島台風」などによる一連の災害や、交通事故死者数が依然として全国ワースト上位になるなど、県民の安全・安心の向上がこれまで以上に求められています。また、本県はもとより、首都圏の経済発展の核となる成田空港は、我が国の国際競争力の強化や観光先進国の実現に向けた機能強化を目指し、第3滑走路の新設等、「第二の開港」とも言うべき拡張事業が2028年度末の完成予定として進められています。

県内各地域で人口減少や少子高齢化が進む中、圏央道の整備や成田空港の機能強化等による効果を最大限発揮させ、地域活力の向上につなげるため、圏央道や成田空港とのアクセス道路の整備を中心としつつ、県土の強靱化に向けた防災・減災対策や無電柱化等を含め、県内全域を対象とした、今後の道路整備の取り組み方を示したプログラムとして、今回改定することとしました。

3 期待される効果

圏央道の全線開通とともに、銚子連絡道路や茂原・一宮道路などをはじめとしたアクセス道路の整備進展により、全国や県内各地との交流や連携、県内外のスムーズな人・モノの流れが強化され、生産性の向上や交流の活性化が期待されます。

また、機能強化が進められている成田空港と首都圏とのアクセス強化に資する北千葉道路や、千葉港とのアクセスルートとなる東京湾岸道路の整備、さらには、都市部における渋滞対策や通学路の歩道整備などを進める事により、千葉のポテンシャルが最大限発揮され、県内経済の更なる活性化とともに地域活力の向上が期待されます。一方、橋梁の耐震化や無電柱化等を推進する事により、災害による被害を軽減し、県土の強靱化が図られます。

また、本プログラムを公表することで、道路事業における、事業の透明性の向上、計画的な地域形成、早期の事業効果の発現等も期待されます。

4 取り組む具体的な施策

以下の5つの施策に基づいた10の取組みを進めます。

【施策】

【取組み】

施策(1)
交流を支える
道路ネットワークの推進

- ①首都圏の骨格となる高規格道路等の整備、強化
- ②圏央道など高速道路ICへのアクセス道路の整備
- ③成田空港や千葉港等へのアクセス強化に資する道路の整備
- ④都及び他県との連携を強化する道路の整備

施策(2)
県内の主要プロジェクト
に関連する道路整備

- ① 成田空港の機能強化に関連する道路の整備

施策(3)
安全・安心な道路づくり

- ① 無電柱化の推進
- ② 既存施設の老朽化対策及び防災力の向上
- ③ 安全・快適な自転車・歩行者空間の確保

施策(4)
都市部の渋滞対策に
資する道路等の整備

- ① 渋滞対策に資する道路の整備

施策(5)
地域の課題を解決し、
まちづくり、地域づくりを
支える道路等の整備

- ① 地域の課題を解決し、まちづくり、地域づくりを支える道路等の整備

【施策の概要】

施策(1) 交流を支える道路ネットワークの推進

① 首都圏の骨格となる高規格道路等の整備、強化

全国や県内各地との交流や連携、スムーズな人・モノの流れの強化を目指し、圏央道の大栄・横芝間の整備をはじめ、圏央道の県境・大栄間や富津館山道路の4車線化など高規格道路等の整備を促進するとともに、京葉道路や国道16号、51号、127号、357号等の機能強化や整備促進を図ります。さらに、新湾岸道路や千葉北西連絡道路について、早期に具体化が図られるよう、積極的に取り組んでまいります。また、東関東自動車道館山線の延伸計画の具体化や、東京湾アクアラインのロードプライシング、東京湾口道路の調査について促進してまいります。

② 圏央道など高速道路インターチェンジへのアクセス強化に資する道路の整備

圏央道などの整備効果を県内各地に波及させるため、銚子連絡道路(山武東総道路)や茂原・一宮・大原道路(長生グリーンライン等)の整備を推進するとともに、館山・鴨川道路や鴨川・大原道路の早期着手など、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進し、更なる利便性の向上や県内外との交流の活性化を図ります。

③ 成田空港や千葉港等へのアクセス強化に資する道路の整備

機能強化が進められている成田空港や千葉港などと首都圏とのアクセス強化に資する道路の整備を推進し、物流網の強化による利便性や生産性の向上の実現によるストック効果の最大化を図ります。特に外環道と成田空港を結ぶ、北千葉道路については、現在、事業中の印西市・成田市間の一日も早い全線供用はもとより、市川市・松戸市間においては、令和6年度に都市計画事業として承認・認可されました。未事業化区間についても引き続き、事業実施に向けた環境を整えてまいります。さらに、県道成田松尾線及び(仮称)滑走路横断道路、成田空港周辺IC(仮称)について整備を進めてまいります。また、千葉港とのアクセス強化に資する、東京湾岸道路[一般部(袖ヶ浦～富津)、専用部(千葉～富津)]についても、早期に具体化が図られるよう取り組んでまいります。

④ 都及び他県との連携を強化する道路の整備

本県は大きな河川や海に囲まれた半島であるという地理的制約があることから、北西部、南部、北東部の3つのゲートウェイ(玄関口)から県境を連絡する道路を強化することにより、高規格道路と一体となって県内外の交流の活性化を図ります。

施策(2) 県内の主要プロジェクトに関連する道路整備

① 成田空港の機能強化に関連する道路の整備

成田空港は今後、増加が予測される首都圏の航空需要に対応していくため、第3滑走路の新設など、更なる機能強化を進めているところであり、県としても、その効果を最大限発揮させるため、空港とのアクセス強化や空港周辺の地域振興に資する道路の整備に取り組めます。

施策(3) 安全・安心な道路づくり

① 無電柱化の推進

無電柱化については、防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観を確保するため実施しているところですが、地震や暴風等を原因とした、電柱の倒壊による道路閉塞等を防止し、災害時における救急搬送や復旧活動を円滑に実施できるよう、無電柱化の更なる推進を図ります。

② 既存施設の老朽化対策及び防災力の向上

地域の強みや特徴を生かした産業の持続的な発展とともに、誰もが安心して暮らせる災害に強い県づくりを進めるために、計画的な維持管理による老朽化対策を図るとともに、橋梁の耐震化や道路法面の防災対策に取り組めます。また、道路施設ごとの長寿命化修繕計画は、修繕の実施状況、その後の定期点検結果を検証・評価して確実に反映させ、定期的に更新し継続的なPDCAサイクルを確保していきます。

※各施設の長寿命化修繕計画は、県及び市町村のHPを参照。

③ 安全・快適な自転車・歩行者空間の確保

2024年中における県内の交通事故死者数は、131人と全国ワースト上位となり、依然として、交通事故の発生が多い状況です。

このため、「交通安全の推進」を基本方針として、安全で快適な交通環境を確保するため、交差点の改良や歩道などの整備に取り組めます。

施策(4) 都市の渋滞対策に資する道路等の整備

① 渋滞対策に資する道路等の整備

湾岸部等の都市部では、交通集中により、慢性的な渋滞や踏切遮断による交通渋滞が発生しています。このため、渋滞の抜本的な対策として、都市計画道路の整備や鉄道の連続立体交差事業を推進します。

施策(5) 地域の課題を解決し、まちづくり、地域づくりを支える道路等の整備

① 地域の課題を解決し、まちづくり、地域づくりを支える道路等の整備

日常の生活で利用している道路が狭隘で見通しが悪いなど、利便性が低く社会経済活動に支障となっている、あるいは、休日の買い物や観光客の集中による渋滞の発生が、地域の観光振興を妨げている等、各地域における課題を解決し、特性を生かしたまちづくり、地域づくりを支援する道路等の整備を推進します。

5 プログラムの対象路線

プログラムの対象路線については、「圏央道の全線開通、成田国際空港の機能強化(2028年度末に第3滑走路完成予定)を見据え、「3 取り組む具体的な施策」に示した取組を進めていくことにより、今後10年間で供用(事業着手含む)を目指す道路について対象としています。

また、県民の安全・安心で快適な暮らしを守るため、道路の防災・安全対策や都市部の渋滞対策に資する路線のほか、まちづくり、地域づくりを支える生活道路の整備についても、今回、プログラムの対象として取込んでいます。

※ 現在、本プログラムに含まれていない路線・箇所についても、新規事業化の目途が立った段階で、順次、追加いたします。

対象事業	国・県・市町村・高速道路会社事業
事業種別	新設、改築(バイパス・現道拡幅)、無電柱化、道路の防災減災対策、老朽化対策、歩道整備、交差点改良、鉄道高架化、大規模自転車道整備、自転車通行空間整備
計画の期間	2020年度から2030年度

6 プログラム期間中の開通見込み路線（2026年度～2030年度）

事業主体	路線・箇所名	開通予定延長	事業種別	備考
(1) 交流を支える道路ネットワークの推進				
② 圏央道など高速道路ICのアクセス強化に資する道路の整備				
県	国道356号 銚子バイパス 銚子市大橋町～銚子市小船木町	3.0km	バイパス	
④ 都及び他県との連携を強化する道路の整備				
県	県道下総橋停車場東城線 東庄町新宿～東庄町宮本	1.0km	バイパス	
(2) 県内の主要プロジェクトに関連する道路整備				
① 成田空港の機能強化に関連する道路の整備				
県	県道成田小見川鹿島港線 成田市取香～成田市多良貝	2.2km	4車線化	
(3) 安全・安心な道路づくり				
② 既存施設の老朽化対策及び防災力の向上				
県	県道市原天津小湊線 鴨川市天津	0.2km	バイパス	
県	県道鴨川保田線 御園橋 鴨川市寺門	0.04km	橋梁架換	
③ 安全・快適な自転車・歩行者空間の確保				
県	県道茂原環状線 茂原市小林	0.5km	現道拡幅	
(4) 都市の渋滞対策に資する道路等の整備				
① 渋滞対策に資する道路の整備				
県	都市計画道路 藤崎茜浜線 習志野市	0.6km	バイパス	
県	都市計画道路 中野畑沢線外1線 木更津市・袖ヶ浦市	1.1km	バイパス	
(5) 地域の課題を解決し、まちづくり、地域づくりを支える道路等の整備				
① 地域の課題を解決し、まちづくり、地域づくりを支える道路等の整備				
県	国道128号 押堀バイパス 東金市福俵	0.7km	バイパス	
県	県道和田丸山館山線 南房総市沓見	0.5km	現道拡幅	
県	県道鴨川保田線 鋸南町市井原	0.3km	バイパス	
県	県道市原茂原線 市原市新巻	0.5km	現道拡幅	

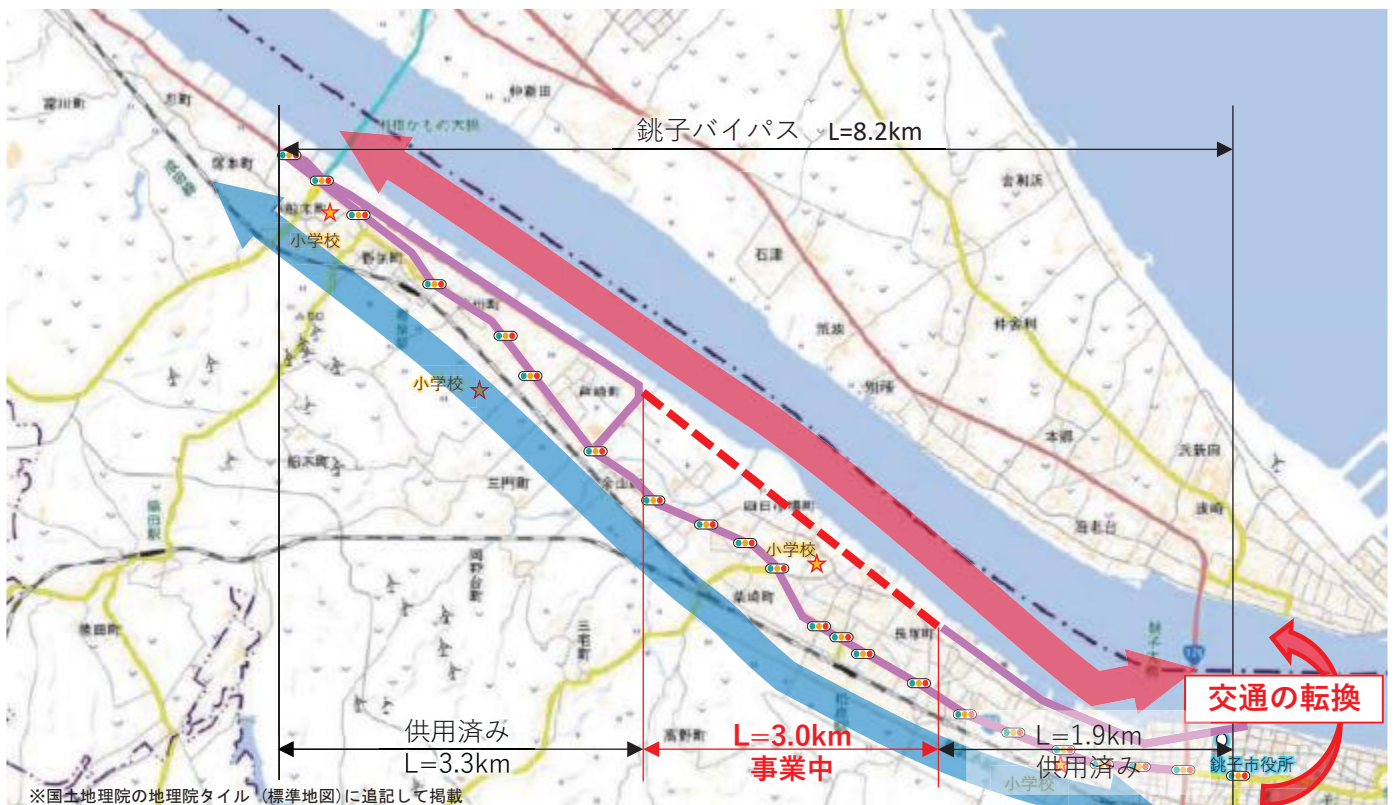
プログラム期間中に開通見込の代表路線

国道356号（銚子バイパス）の開通により 期待される効果

“交通の円滑化”と“現道の安全性向上”が期待されます。

○物流車両等の通過交通をバイパスへ分担

○通過交通の転換により現道の走行性・安全性が向上



現道



人家が連なり、幅員が狭い
交通量が多く、交通渋滞が発生

開通

バイパス



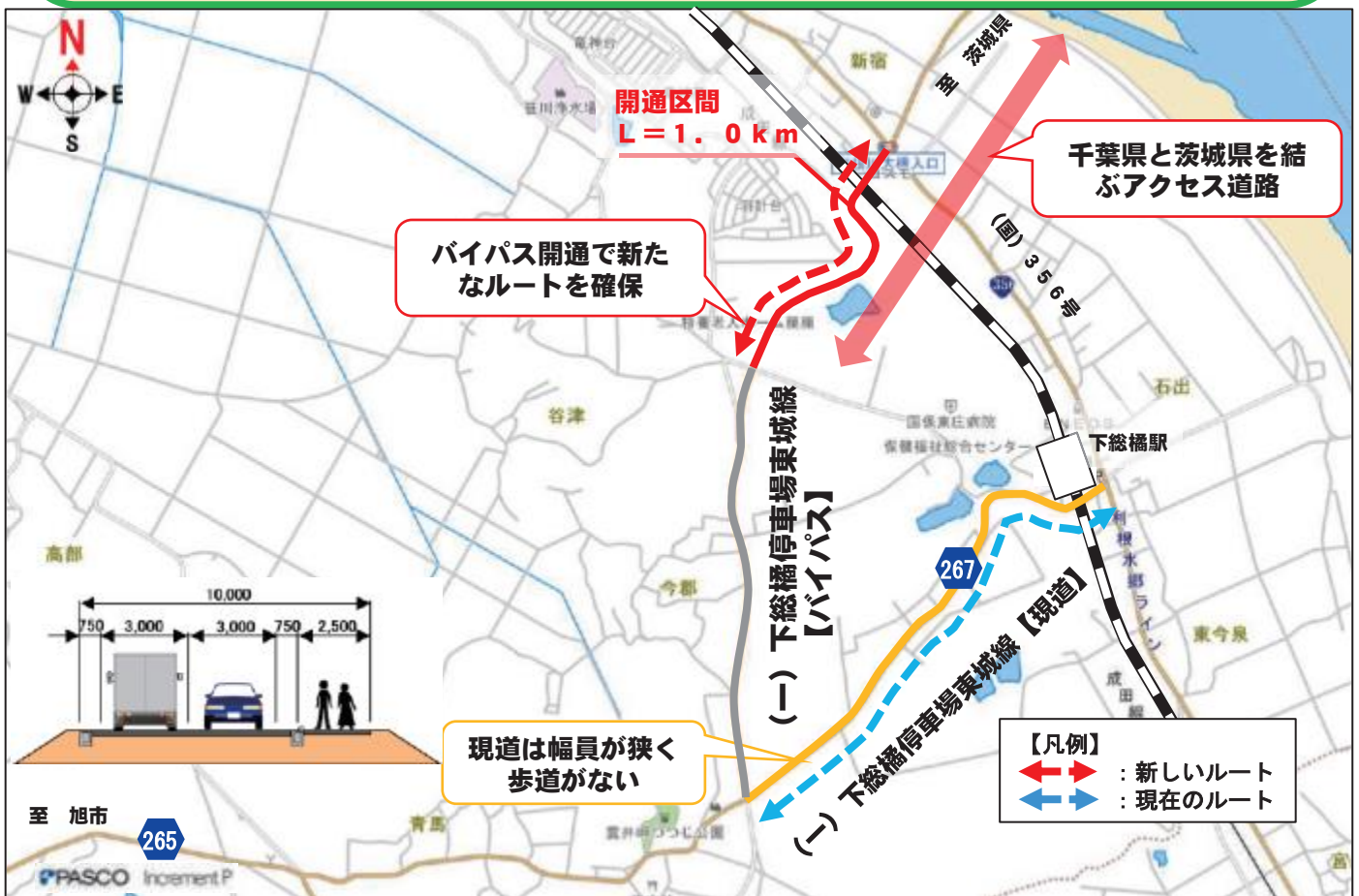
必要な幅員を確保！
安全で走りやすい道路に！

プログラム期間中に開通見込の代表路線

県道下総橋停車場東城線（北ルート）の 開通により期待される効果

“交通の円滑化”と“安全性の向上”が期待されます。

- 狭あい・線形不良箇所を回避する新たなルートを確認
- 狭あい・線形不良箇所を迂回することで移動時間の短縮や安全性の向上が期待



幅員が狭く、線形が悪い。
また、歩道がなく安全性に課題。



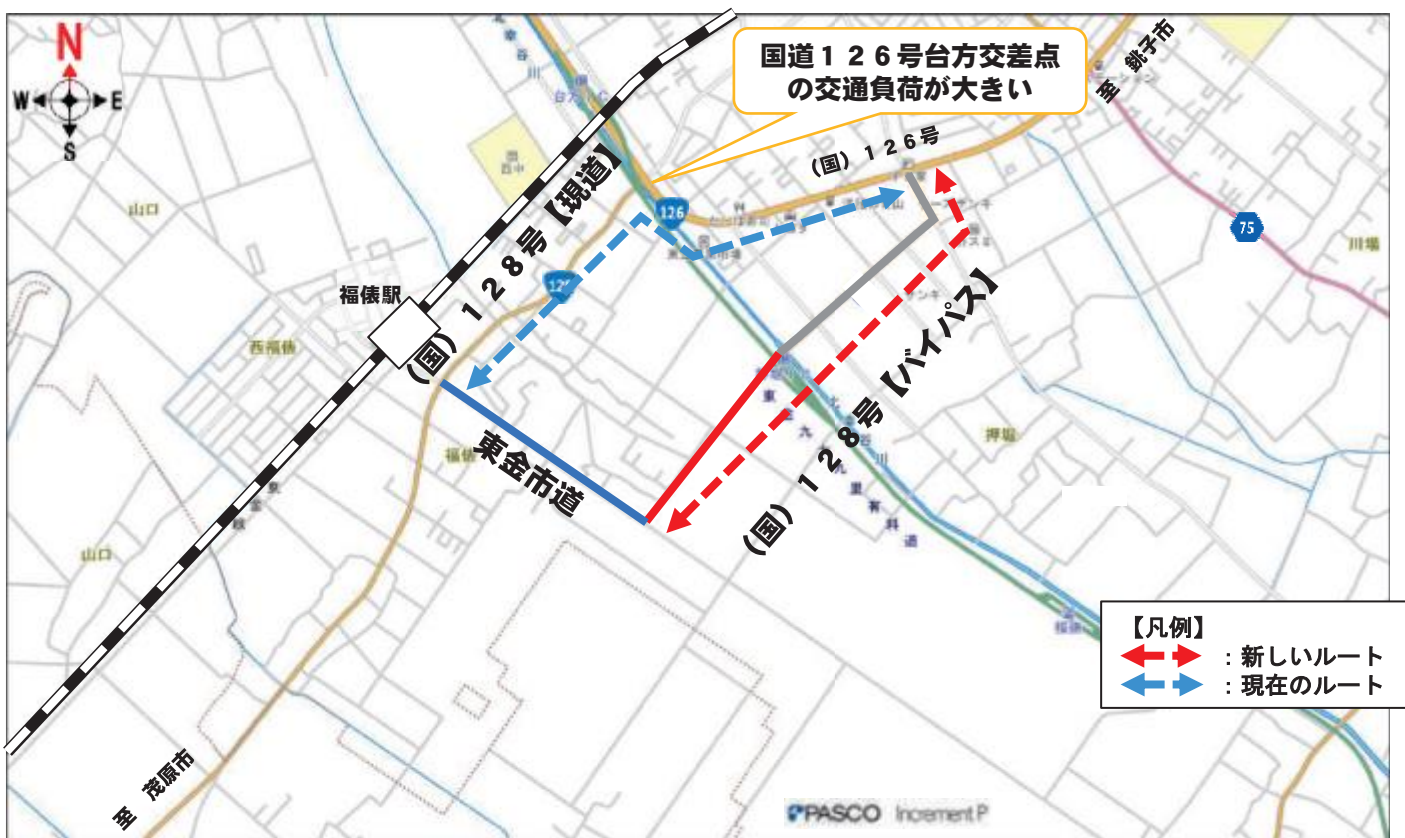
必要な幅員及び歩道空間を確保！
安全で走りやすい道路に！

プログラム期間中に開通見込の代表路線

国道128号（押堀バイパス）の開通により 期待される効果

“交差点の交通負荷軽減”と“アクセス性向上”が期待される

- 国道126号台方交差点の交通負荷軽減が期待
- 東金市南西部及び大網白里市と押堀インターチェンジ
周辺商業施設へのアクセス向上が期待



台方十字路交差点では
朝夕を中心に渋滞が発生している。



バイパスの開通により
安全で走りやすい道路に！

7 整備を進める主な路線



※第二東京湾岸道路を軸とした新たな規格の高い道路ネットワークについて、外環高谷JCT周辺から蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺までの湾岸部において検討中

取組む具体的な施策【主な路線・箇所】

番号	事業主体	路線・箇所名	事業延長	事業種別	供用(完了)目標		全体事業費 【百万円】	接続IC等	備考
					年度	延長			
(1) 交流を支える道路ネットワークの推進									
① 首都圏の骨格となる高規格道路等の整備、強化 [国等に働きかけていく路線]									
1	国・高速道路会社	圏央道(大栄～横芝間)	18.5km	新設	2026年度	18.5km	—	—	大栄JCT～多古IC間は、令和8年秋頃開通予定
2	国・高速道路会社	圏央道(神崎～大栄間4車線化)	9.7km	4車線化	2026年度	9.7km	—	—	
3	国・高速道路会社	圏央道(県境～神崎間4車線化)	1.0km	4車線化	2026年度	1.0km	—	—	
4	高速道路会社	京葉道路(抜本的な渋滞対策)	—	—	—	—	—	—	
5	—	圏央道(横芝・木更津東間4車線化) ※	58.6km	4車線化	—	—	—	—	
6	—	圏央道((仮称)かずさIC) ※	—	—	—	—	—	—	
7	高速道路会社	東京外環自動車道(京葉JCTランプ)	—	新設	—	—	—	—	
8	—	東京湾アクアライン(交通の円滑化)	—	—	—	—	—	—	
9	—	富津館山道路(4車線化) ※	19.2km	4車線化	—	—	—	—	
10	—	東関東道館山線(富浦IC以南延伸) ※	—	—	—	—	—	—	
11	国	東京湾岸道路 一般部(千葉市～浦安市)	24.2km	改築 現道拡幅	—	—	194,000	—	事業延長・全体事業費は千葉市区間を含む
12	—	東京湾岸道路 ※ 一般部(袖ヶ浦市～富津市) 専用部(千葉市～富津市)	—	—	—	—	—	—	
13	—	第二東京湾岸道路 ※	—	—	—	—	—	—	
14	—	新湾岸道路 ※	—	—	—	—	—	—	
15	—	千葉北西連絡道路 ※	—	—	—	—	—	—	
16	—	東京湾口道路 ※	—	—	—	—	—	—	
② 圏央道など高速道路ICのアクセス強化に資する道路の整備									
17	国	国道51号拡幅(北千葉・成田・大栄) [国等に働きかけていく路線]	14.9km	4車線化	—	—	61,000	貝塚IC外	事業延長・全体事業費は千葉市区間を含む
18	県	国道126号 銚子連絡道路 横芝光町芝崎～匝瑳市横須賀	5.0km	バイパス	事業完了		14,130	松尾横芝IC	
19	県	国道126号 銚子連絡道路 匝瑳市横須賀～旭市イ	13.0km	バイパス	—	13.0km	30,100	松尾横芝IC	
20	県	国道126号 八木拡幅 銚子市三崎町～旭市八木	5.7km	4車線化 バイパス	2020年代 (目標)	3.0km	8,500	松尾横芝IC	
				—	2.7km				
21	県	国道356号 銚子バイパス 銚子市大橋町～銚子市小船木町	8.2km	バイパス	事業完了	3.3km	6,200	佐原香取IC	
				2026年度	3.0km				
				供用済み (既存道路活用)	1.9km				
22	県	国道356号 小見川東庄バイパス 東庄町新宿～東庄町笹川い	8.7km	バイパス	事業完了		7,400	佐原香取IC	
23	県	国道356号 香取小見川バイパス 香取市小見川～香取市津宮	10.1km	バイパス	—	10.1km	17,000	佐原香取IC	
24	県	国道356号 東庄銚子バイパス 東庄町新宿～銚子市小船木町	8.6km	バイパス 現道拡幅	—	8.6km	15,000	佐原香取IC	
25	県	国道409号 長生グリーンライン 長南町坂本～茂原市台田	7.2km	バイパス	事業完了	4.7km	21,510	茂原長南IC	
26	県	国道409号 長生グリーンライン 茂原市台田～茂原市三ヶ谷		バイパス	2030年代 (目標)	2.5km		茂原長南IC	
27	県	国道128号 長生グリーンライン 茂原市三ヶ谷～一宮町一宮	5.0km	バイパス	—	5.0km	17,000	茂原長南IC	
28	県	国道410号 久留馬来田バイパス 君津市広岡～君津市向郷	15.7km	バイパス	事業完了		19,674	木更津東IC	
29	県	国道297号 横山バイパス 大多喜町横山 外	2.7km	バイパス	事業完了	1.1km	4,600	市原鶴舞IC	
				—	1.6km				
30	県	国道297号 松野バイパス 勝浦市松野 外	6.7km	バイパス	2030年代 (目標)	2.0km	5,936	市原鶴舞IC	
				事業完了	1.9km				
				—	2.8km				

取組む具体的な施策【主な路線・箇所】

番号	事業主体	路線・箇所名	事業延長	事業種別	供用(完了)目標		全体事業費 【百万円】	接続IC等	備考
					年度	延長			
②圏央道など高速道路ICのアクセス強化に資する道路の整備									
31	県	国道356号 篠原拡幅 香取市津宮～香取市佐原イ	1.9km	4車線化	2020年代 (目標)	1.9km	3,010	佐原香取IC	
32	県	茂原・一宮・大原道路(一宮町～いすみ市)※	—	—	—	—	—	茂原長南IC	
33	県	館山・鴨川道路 ※	—	—	—	—	—	—	
34	県	鴨川・大原道路 ※	—	—	—	—	—	—	
③成田空港や千葉港等へのアクセス強化に資する道路の整備									
35	県	県道船橋我孫子線(船橋市) ※	—	4車線化	—	—	—	花輪IC	
36	市	都市計画道路 塩田町菅田町線 千葉市中央区塩田	0.78km	新設	2026年度以降	0.78km	10,740	蘇我IC	
37	高速 道路会社	北千葉道路 [国等に働きかけていく路線] 仮称北千葉JCT	—	新設	—	—	130,000	成田空港	
38	国	北千葉道路 [国等に働きかけていく路線] 外環道～市川市大町	専用部1.9km 一般部3.5km	新設 バイパス	—	1.9km 3.5km	190,000	成田空港	
39	国	北千葉道路 [国等に働きかけていく路線] 成田市北須賀～成田市押畑	5.6km	4車線化	—	5.6km	53,400	成田空港	
40	県	国道464号 北千葉道路 印西市若萩～成田市北須賀 成田市押畑～成田市大山	7.9km	バイパス 4車線化	2030年代 (目標)	7.9km (一部暫定供用済)	103,130	成田空港	
41	県 市町村	県道船橋松戸線 市川都計道3・3・9号線 松戸都計道3・3・7号線 市川市大町～松戸市紙敷	1.36km	バイパス	—	1.36km	9,700	成田空港	
42	—	北千葉道路 [国等に働きかけていく路線] 市川市大町～国道16号	専用部13.1km 一般部5.5km	—	—	—	—	成田空港	
43	—	北千葉道路 ※ 船橋市小室～白井市谷田	—	—	—	—	—	成田空港	
44	—	北千葉道路 関連道路 ※ 市川市大町～国道16号	—	—	—	—	—	成田空港	
45	—	圏央道～空港間を直接結ぶ規格の高い道路 ※	—	—	—	—	—	成田空港	
46	県 空港会社	県道成田松尾線及び(仮称)滑走路横断道路	3.1km	新設	—	—	—	成田空港	
④都及び他県との連携を強化する道路の整備									
47	県	県道越谷流山線(三郷流山橋有料道路) 埼玉県三郷市前間～千葉県流山市三輪野山	2.0km ※埼玉県側取付部含む	バイパス	事業完了		21,710	三郷IC	
48	県	都市計画道路 下花輪駒木線 流山市三輪野山	0.7km	4車線化	2020年代 (目標)	0.7km	3,150	三郷IC	
49	県	都市計画道路 下花輪駒木線外1線 流山市・柏市	1.2km	4車線化	2020年代 (目標)	1.2km	1,050	三郷IC	
50	県	都市計画道路 十余二船戸線 (柏北部中央地区)[柏市]	2.9km	新設	2029年度	2.9km	15,600	三郷IC	
51	県	県道野田牛久線(都市幹道利根川橋梁(仮称)) 千葉県柏市小青田～茨城県守谷市大柏	3.5km ※茨城県側取付部含む	バイパス	—	3.5km	49,820	—	
52	県	県道境杉戸線 野田市関宿台町～関宿元町	2.3km	バイパス 現道拡幅	—	0.8km (暫定供用済) 1.1km 0.4km	2,340	境古河IC	
53	県	県道銚子海上線 旭市清滝	2.6km	バイパス	事業完了		8,000	鹿島港	
54	県	県道下総橋停車場東城線 東庄町新宿～宮本	2.6km	バイパス	2026年度 事業完了	1.0km 1.6km	5,159	—	
55	県	県道王子金町市川線((仮称)押切・湊橋) 市川市押切	0.8km ※東京都側取付部含む	新設	—	0.8km	12,000	—	旧江戸川橋梁(仮称)新設事業
56	県	隣接都県との連携強化に資する道路及びア クセス道路(江戸川など)	—	—	—	—	—	—	
(2) 県内の主要プロジェクトに関連する道路整備									
①成田空港の機能強化に関連する道路の整備									
1	県	県道成田松尾線 芝山町菱田 外	—	バイパス	—	—	—	成田空港	成田空港の機能強化に伴い付け替え
2	県	国道296号 大里拡幅 芝山町大里	1.8km	4車線化	2020年代 (目標)	1.8km	1,800	多古IC	成田空港の機能強化に伴い付け替え
3	県	県道成田小見川鹿島港線 成田市取香～成田市多良貝	3.2km	4車線化	2026年度 2020年代 (目標)	2.2km 1.0km	5,684	圏央成田IC	

取組む具体的な施策【主な路線・箇所】

番号	事業主体	路線・箇所名	事業延長	事業種別	供用(完了)目標		全体事業費 【百万円】	接続IC等	備考
					年度	延長			
①成田空港の機能強化に関連する道路の整備									
4	県	県道成田小見川鹿島港線 成田市取香	0.5km	ランプ整備	—	0.5km	1,000	圏央成田IC	
5	県	県道成田安食線 成田市押畑	1.0km	4車線化	2020年代 (目標)	1.0km	1,700	成田空港	
6	県	県道成田下総線 成田市大室 外	0.6km	バイパス	—	0.6km	883	下総IC	
7	—	成田空港周辺の地域振興に資する道路	—	—	—	—	—		
8	市町村	市町村道(バイパス・新設)【3市町】	—	バイパス 新設	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
9	市町村	市町村道(現道拡幅)【4市町】	—	現道拡幅	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
(3)安全・安心な道路づくり									
①無電柱化の推進									
1	県	国道297号 市原市五所(無電柱化事業)	1.1km	無電柱化	2030年代 (目標)	1.1km	900		
2	県	県道千葉鎌ヶ谷松戸線 習志野市美和(無電柱化事業)	0.67km	無電柱化	事業完了		590		
3	県	国道296号 八千代市勝田台(無電柱化事業)	0.50km	無電柱化	事業完了		500		
4	県	県道松戸原木線 松戸市二十世紀が丘(無電柱化事業)	0.8km	無電柱化	2028年度	0.8km	600		
5	県	都市計画道路 柏の葉キャンパス駅北連絡線 (柏北部中央地区)〔柏市〕	0.89km	歩道整備	2026年度	0.89km	2,586		
6	県	県道佐原山田線 香取市佐原(無電柱化事業)	0.57km	無電柱化	2030年代 (目標)	0.57km	812		
7	県	県道宗吾酒々井線 酒々井町酒々井(無電柱化事業)	0.45km	無電柱化	2030年代 (目標)	0.45km	500		
8	県	都市計画道路 成東駅南口線 山武市津辺	0.3km	現道拡幅	2020年代 (目標)	0.1km (暫定供用済) 0.2km	1,560		
9	県	県道外川港線 銚子市馬場町(無電柱化事業)	1.1km	無電柱化	2030年代 (目標)	1.1km	800		
10	県	県道銚子停車場線 銚子市西芝町(無電柱化事業)	0.4km	無電柱化	2030年代 (目標)	0.4km	600		
11	県	国道465号 いすみ市新田野(無電柱化事業)	1.7km	無電柱化	2030年代 (目標)	1.7km	850		
12	県	国道126号 東金市東金(無電柱化事業)	0.67km	無電柱化	2030年代 (目標)	0.67km	832		
13	県	県道千葉大網線 大網白里市みやこ野(無電柱化事業)	0.52km	無電柱化	2030年代 (目標)	0.52km	625		
14	県	県道袖ヶ浦中嶋木更津線 袖ヶ浦市奈良輪2(無電柱化事業)	0.04km	無電柱化	2028年度	0.04km	50		
15	県	県道袖ヶ浦停車場線 袖ヶ浦市奈良輪1(無電柱化事業)	0.15km	無電柱化	2028年度	0.15km	150		
16	県	国道297号 勝浦市墨名(無電柱化事業)	1.0km	無電柱化	2030年代 (目標)	1.0km	850		
17	県	国道128号 御宿町新町(無電柱化事業)	1.0km	無電柱化	2030年代 (目標)	1.0km	850		
18	県	県道御宿停車場線 御宿町須賀(無電柱化事業)	0.27km	無電柱化	2030年代 (目標)	0.27km	273		
19	市町村	市町村道(無電柱化)【8市】	—	無電柱化	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
②既存施設の老朽化対策及び防災力の向上									
20	国	国道127号防災事業〔国等に働きかけていく路線〕	30.0km	現道拡幅 バイパス	—	—	22,800	—	連続雨量200mm 規制区間
21	県	県道市原天津小湊線 市原市田淵	1.7km	現道拡幅 バイパス	—	0.1km (部分供用)	3,159	落石	
					—	1.0km			
					事業完了	0.6km			
22	県	国道297号 市原市米原2	0.19km	法面对策	2029年度	0.19km	100	落石、土砂崩落	
23	県	県道大多喜里見線 市原市月出	0.16km	法面对策	2030年代 (目標)	0.16km	200	落石、土砂崩落	
24	県	国道297号 市原市米原	0.49km	法面对策	2030年代 (目標)	0.49km	800	落石、土砂崩落	
25	県	県道大多喜君津線 市原市菅野	0.2km	法面对策	2030年代 (目標)	0.2km	100	落石、土砂崩落	
26	県	県道市川浦安線(行徳橋) 市川市	0.7km	橋梁架換	事業完了		3,094		
27	県	県道千葉臼井印西線(舟戸大橋) 印西市	0.3km	橋梁架換	事業完了		2,700		
28	県	県道佐原八日市場線(豊橋) 香取市	0.3km	橋梁架換	事業完了		655		
29	県	国道465号 黄和田畑拡幅 君津市黄和田畑	2.1km	現道拡幅 バイパス	事業完了	1.6km	3,878	時間雨量150mm 規制区間	
					事業完了	0.5km			

取組む具体的な施策【主な路線・箇所】

番号	事業主体	路線・箇所名	事業延長	事業種別	供用(完了)目標		全体事業費 【百万円】	接続IC等	備考
					年度	延長			
②既存施設の老朽化対策及び防災力の向上									
30	県	県道市原天津小湊線 君津市黄和田畑	3.8km	現道拡幅	—	2.4km	5,120	落石、土砂崩落	
					事業完了	1.4km			
31	県	国道465号 大多喜町黒原	0.16km	法面对策	事業完了		313	落石、土砂崩落	
32	県	国道465号 大多喜町黒原2	0.03km	法面对策	事業完了		155	落石、土砂崩落	
33	県	県道久留里鹿野山湊線 富津市桜井	0.16km	法面对策	事業完了		305	落石、土砂崩落	
34	県	県道市原天津小湊線 鴨川市天津	2.7km	バイパス	2028年度	0.2km	3,673	土砂崩落	
				事業完了	2.5km				
35	県	国道128号(里見橋) 南房総市	0.3km	橋梁架換	2030年代	0.3km	925		
36	県	県道天津小湊夷隅線(仲川橋) 勝浦市	0.2km	橋梁架換	事業完了		321		
37	市町村	市町村道(橋梁修繕)【4市】	—	橋梁修繕	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
38	市町村	市町村道(橋梁架換)【7市町村】	—	橋梁架換	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
39	市町村	市町村道(横断歩道橋修繕)【2市】	—	横断歩道 橋修繕	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
40	市町村	市町村道(橋梁耐震補強)【3市】	—	橋梁耐震 補強	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
③安全・快適な自転車・歩行者空間の確保									
41	県	県道成東酒々井線 八街市八街ほ	0.5km	バイパス	—	0.5km (暫定2車線供用済)	4,500	通学路歩道整備	
42	県	県道富里酒々井線(住野交差点) 八街市八街ほ	0.4km	交差点 改良	—	0.4km (暫定供用済)	774	通学路歩道整備	
43	県	都市計画道路 八千代台花輪線 八千代市八千代台西	0.5km	現道拡幅	2026年度 (用地取得等が順調な場合)	0.5km	2,204	通学路歩道整備	
44	県	都市計画道路 国分下見塚線 市川市東国分	0.3km	現道拡幅	2030年代 (目標)	0.3km	1,293	通学路歩道整備	
45	県	都市計画道路 芝崎市野谷線 (運動公園周辺地区)〔流山市〕	1.72km	新設	2028年度	1.72km	3,848	通学路 (土地区画整理事業)	
46	県	都市計画道路 加市野谷線 (運動公園周辺地区)〔流山市〕	0.61km	新設	事業完了		1,381	通学路 (土地区画整理事業)	
47	県	都市計画道路 南流山名都借線 (運動公園周辺地区)〔流山市〕	1.77km	現道拡幅	2026年度	1.77km	1,133	通学路 (土地区画整理事業)	
48	県	都市計画道路 野々下思井線 (運動公園周辺地区)〔流山市〕	1.4km	バイパス	2028年度	1.4km	4,617	通学路 (土地区画整理事業)	
49	県	都市計画道路 中駒木線 (運動公園周辺地区)〔流山市〕	1.62km	新設	事業完了		4,950	通学路 (土地区画整理事業)	
50	県	都市計画道路 柏国道16号線 (柏北部中央地区)〔柏市〕	1.14km	歩道整備	2028年度	1.14km	158	通学路 (土地区画整理事業)	
51	県	都市計画道路 十余二花野井線 (柏北部中央地区)〔柏市〕	1.32km	現道拡幅	2026年度	1.32km	588	通学路 (土地区画整理事業)	
52	県	都市計画道路 高田若柴線 (柏北部中央地区)〔柏市〕	1.31km	バイパス	2028年度	1.31km	3,877	通学路 (土地区画整理事業)	
53	県	都市計画道路 豊四季駅前線 (柏北部中央地区)〔柏市〕	0.7km	現道拡幅	2028年度	0.7km	1,327	通学路 (土地区画整理事業)	
54	県	都市計画道路 流山柏線 (運動公園周辺地区)〔流山市〕	1.1km	現道拡幅	2029年度	1.1km	1,148	通学路 (土地区画整理事業)	
55	県	県道我孫子流山自転車道線 我孫子市布佐～印西市大森	8.1km	自転車道 整備	事業完了		1,434		
56	県	県道勝浦布施大原線 御宿町上布施	0.41km	歩道整備	事業完了		260	通学路	
57	市町村	市町村道(バイパス・新設)【11市町】	—	バイパス 新設	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
58	市町村	市町村道(現道拡幅)【14市町】	—	現道拡幅	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
59	市町村	市町村道(歩道整備)【32市町】	—	歩道整備	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
60	市町村	市町村道(交差点改良)【8市】	—	交差点 改良	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
61	市町村	市町村道(自転車通行空間)【14市】	—	自転車通 行空間	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
62	市町村	市町村道(歩行者通行空間)【12市町】	—	歩行者通 行空間	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
63	市町村	市町村道(駅前広場)【2市】	—	駅前広場	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
64	市町村	市町村道(バリアフリー化)【3市】	—	バリア フリー	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
65	市町村	市町村道(ゾーン30整備)【2市】	—	ゾーン30	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				

取組む具体的な施策【主な路線・箇所】

番号	事業主体	路線・箇所名	事業延長	事業種別	供用(完了)目標		全体事業費 【百万円】	接続IC等	備考
					年度	延長			
(4) 都市の渋滞対策に資する道路等の整備									
① 渋滞対策に資する道路の整備									
1	県	連続立体交差事業(新成線)	3.3km	鉄道 高架化	事業完了		52,751	連続立体	
2	県	連続立体交差事業(東武野田線)	2.9km	鉄道 高架化	2026年度	2.9km	44,228	連続立体	
3	県	都市計画道路 藤崎菟浜線 習志野市鷺沼台	0.6km	バイパス	2028年度	0.6km	14,986	鉄道立体交差	
4	県	都市計画道路 八千代台花輪線 八千代市八千代台西	0.5km	現道拡幅	2026年度 (用地取得等が順調な場合)	0.5km	2,204	渋滞緩和 (県道幕張八千代線[区間])	
5	県	県道市原天津小湊線 市原市江子田	1.4km	バイパス	— 事業完了	0.7km 0.7km	1,400	渋滞緩和 (米沢交差点)	
6	県	県道船橋我孫子線 柏市大島田	0.4km	バイパス	2020年代 (目標)	0.4km	1,832	渋滞緩和 (大島田)	
7	県	都市計画道路 今上木野崎線外2線 野田市山崎	1.0km	バイパス	2030年代 (目標)	1.0km	9,000	鉄道立体交差 (国道16号工業団地入口 交差点)	
8	県	都市計画道路 東習志野実籾線 習志野市東習志野	0.6km	4車線化	2020年代 (目標)	0.6km	9,500	鉄道立体交差	
9	県	都市計画道路 美浜長作町線外2線 習志野市実籾	0.8km	4車線化	2030年代 (目標)	0.8km	3,446	渋滞緩和 (県道幕張八千代線[区間])	
10	県	都市計画道路 美浜長作町線 習志野市実籾	0.5km	4車線化	2030年代 (目標)	0.5km	2,409	渋滞緩和 (県道幕張八千代線[区間])	
11	県	都市計画道路 西浦藤原町線外1線 船橋市上山町	1.2km	バイパス	2030年代 (目標)	1.2km	7,607	渋滞緩和 (県道船橋松戸線[区間])	
12	県	都市計画道路 鬼高若宮線 市川市鬼越	0.5km	現道拡幅	2030年代 (目標)	0.5km	7,970	鉄道立体交差	
13	県	都市計画道路 船橋我孫子バイパス線 鎌ヶ谷市初富	0.3km	バイパス	2030年代 (目標)	0.3km	1,007	渋滞緩和 (国道464号[区間])	
14	県	都市計画道路 葛飾橋矢切線 松戸市下矢切	0.3km	現道拡幅	2020年代 (目標)	0.3km	1,396	渋滞緩和 (県道市川松戸線[区間])	
15	県	国道296号 八千代バイパス 八千代市米本	5.2km	バイパス	事業完了 2020年代 (目標)	3.7km 1.5km	10,979	渋滞緩和 (国道296号[区間])	
16	県	国道14号 市川拡幅 市川市市川	0.8km	4車線化	事業完了		1,870	渋滞緩和 (国道14号[区間])	
17	県	県道千葉竜ヶ崎線 印西市大森	2.5km	バイパス	2020年代 (目標) 事業完了	1.5km 1.0km	2,234	渋滞緩和 (草深)	
18	県	国道409号 富里拡幅 富里市七栄～成田市並木町	1.9km	4車線化	事業完了 2030年代 (目標)	1.3km 0.6km	9,011	渋滞緩和 (国道409号[区間])	
19	県	都市計画道路 金田2号線 (金田西地区)[木更津市]	0.9km	新設	2026年度	0.9km	1,048	渋滞緩和 (土地区画整理事業)	
20	県	都市計画道路 中野畑沢線外1線 木更津市・袖ヶ浦市	1.1km	バイパス	2028年度	1.1km	6,060	渋滞緩和 (アクアライン関連)	
21	国	国道51号 神門局所渋滞対策	0.2km	交差点改良	—	0.2km	—	渋滞緩和 (国道51号)	
22	市町村	市町村道(渋滞対策)【1市】	—	バイパス 交差点改良	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
(5) 地域の課題を解決し、まちづくり、地域づくりを支える道路等の整備									
① 地域の課題を解決し、まちづくり、地域づくりを支える道路等の整備									
1	県	県道市川柏線 松戸市紙敷	0.6km	現道拡幅 バイパス	事業完了		1,296		
2	県	都市計画道路 船戸若柴線 (柏北部中央地区)[柏市]	0.75km	新設	2028年度	0.75km	1,239	土地区画整理事業	
3	県	都市計画道路 葉山十余二線 (柏北部中央地区)[柏市]	1.21km	新設	2028年度	1.21km	1,696	土地区画整理事業	
4	県	県道小田代勝浦線 大多喜町小沢又	0.4km	現道拡幅	事業完了		602		
5	県	県道鎌ヶ谷本笠線 印西市長門屋	4.5km	バイパス	事業完了		7,800		
6	県	県道郡停車場大須賀線 神崎町郡～立野	1.5km	バイパス	2020年代 (目標) 事業完了	0.3km 1.2km	2,000		
7	県	県道成田成東線 山武市松尾町下大蔵	2.3km	現道拡幅 バイパス	— —	1.9km 0.4km	1,200		
8	県	県道飯岡一宮線 横芝光町屋形	1.4km	バイパス	事業完了		1,650		
9	県	県道愛宕山公園線 銚子市天王台	1.45km	バイパス	事業完了		1,036		

取組む具体的な施策【主な路線・箇所】

番号	事業主体	路線・箇所名	事業延長	事業種別	供用(完了)目標		全体事業費 【百万円】	接続IC等	備考
					年度	延長			
①地域の課題を解決し、まちづくり、地域づくりを支える道路等の整備									
10	県	県道旭小見川線 旭市清和甲	1.5km	バイパス	—	0.4km	2,612		
					事業完了	1.1km			
11	県	県道正気茂原線 東金市幸田	0.8km	現道拡幅	—	0.8km	1,300		
12	県	県道茂原白子線バイパス 茂原市～白子町	9.9km	バイパス 現道拡幅	2020年代 (目標)	1.2km (部分供用)	9,000		
					—	7.6km			
					事業完了	1.1km			
13	県	県道夷隅瑞沢線 睦沢町大上	1.8km	現道拡幅	事業完了		843		
14	県	県道夷隅太東線 いすみ市桑田	1.0km	現道拡幅	事業完了		543		
15	県	県道小櫃佐貫停車場線 君津市鹿野山～富津市桜井	2.6km	現道拡幅	—	2.1km	1,200		
					事業完了	0.5km			
16	県	県道上畑湊線 富津市山中	0.6km	バイパス	事業完了		1,255		
17	県	県道君津大貫線 君津市下湯江～富津市本郷	1.6km	バイパス	事業完了		860		
18	県	県道千葉鴨川線 袖ヶ浦市高谷	1.6km	バイパス	事業完了		3,700		
19	県	県道千葉鴨川線 袖ヶ浦市上泉	1.0km	4車線化	—	1.0km	300		
20	県	県道富津館山線 鴨川市金東	1.4km	現道拡幅	—	0.8km	1,713		
					事業完了	0.6km			
21	県	県道和田丸山館山線 南房総市沓見	1.3km	現道拡幅	2026年度	0.5km	700		
					事業完了	0.8km			
22	県	県道和田丸山館山線 南房総市池之内	1.0km	現道拡幅	—	0.5km	440		
					事業完了	0.5km			
23	県	県道鴨川保田線 鋸南町市井原	0.7km	バイパス 現道拡幅	2030年代	0.3km	596		
					事業完了	0.4km			
24	市町村	市町村道(バイパス・新設)【25市町】	—	バイパス 新設	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
25	市町村	市町村道(現道拡幅)【21市町】	—	現道拡幅	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				
26	市町村	市町村道(歩道整備)【5市町】	—	歩道整備	(ゾーン毎の箇所表で事業ごとに表記)				

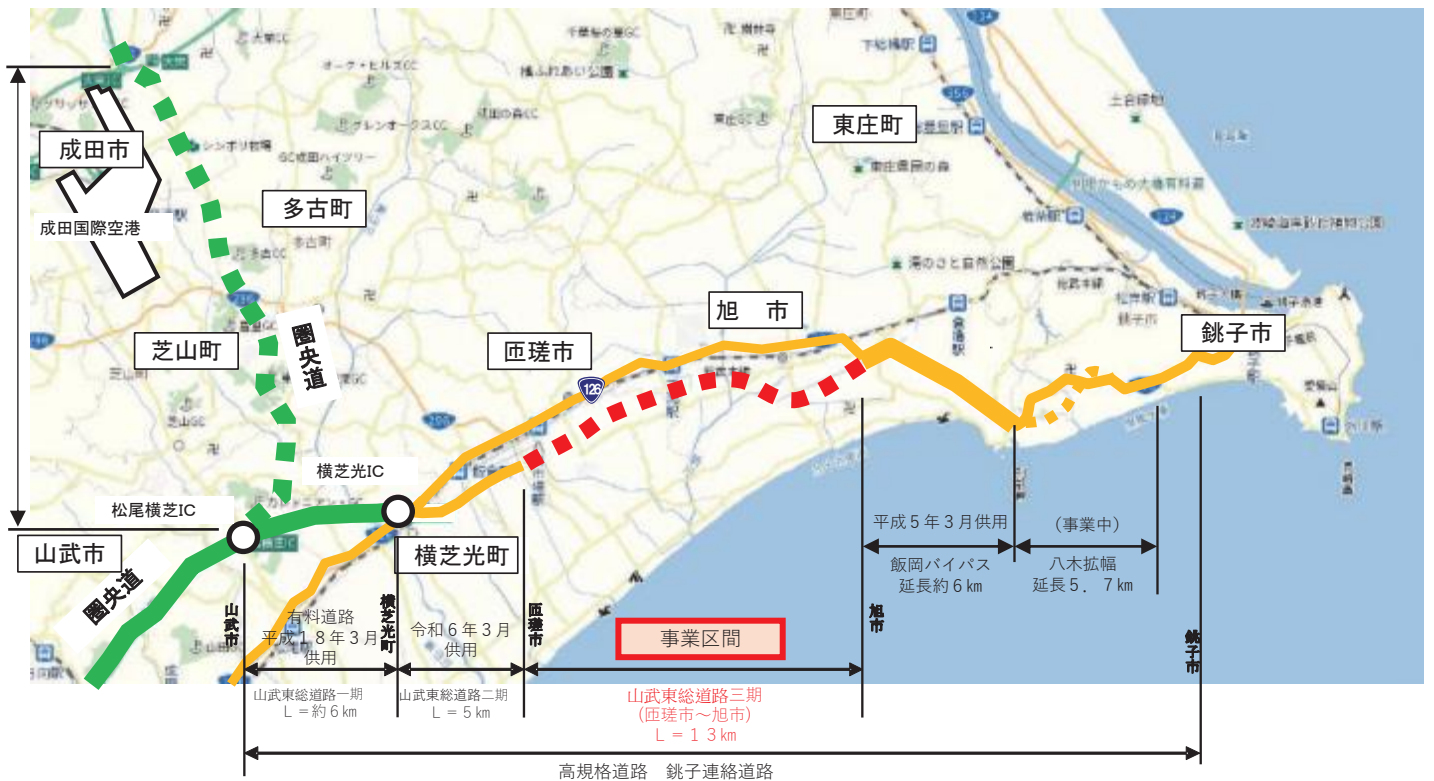
※ 重要路線であり、順次、計画の具体化、着手が必要な路線

整備を進める主な路線の代表路線

銚子連絡道路の開通により 期待される効果

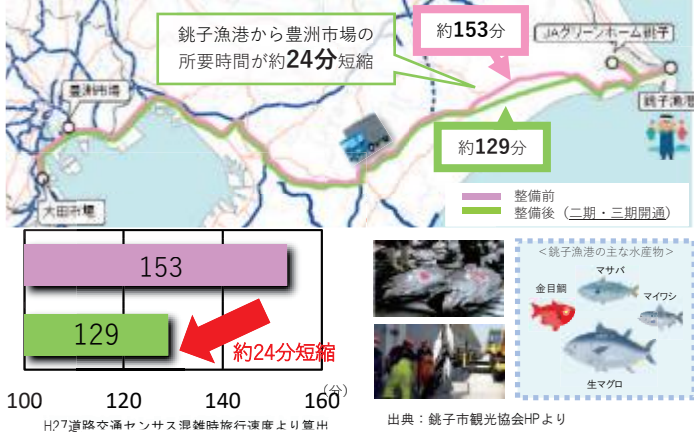
“移動時間短縮”と“地域医療サービスの向上”が期待

- 銚子漁港～豊洲市場までの所要時間が24分短縮。
- 国保旭中央病院からの30分圏域が拡大。



■ 銚子漁港から豊洲市場までの所要時間短縮

出典：令和3年度第4回千葉県県土整備公共事業評価審議会資料を加工して作成



■ 救急医療活動の支援（30分到達圏域の変化）



整備を進める主な路線の代表路線

国道126号（八木拡幅）の開通により 期待される効果

“地域医療サービスの向上”と“農水産物の輸送効率化”が期待。

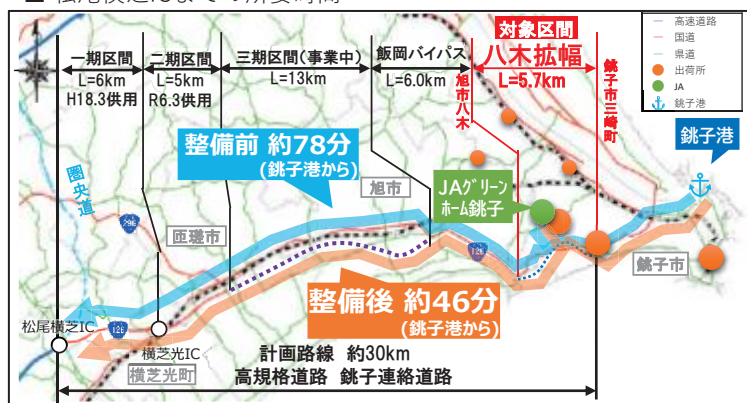
○国保旭中央病院からの30分圏域が拡大

○松尾横芝ICまでのアクセス時間が約32分短縮



■R126号（八木拡幅）の整備効果

■松尾横芝ICまでの所要時間



出典：R3全国道路・街路交通情勢調査：混雑時旅行速度
※整備前：銚子連絡道路は一期・二期区間のみ使用
整備後：銚子連絡道路は全線（一期～三期、飯岡バイパス、八木拡幅）を利用
銚子連絡道路は一律、時速60km/hで走行すると仮定

■八木拡幅整備前後の国保旭中央病院からの30分圏域



出典：R3全国道路・街路交通情勢調査：混雑時旅行速度で算出
整備後、八木拡幅区間5.7kmを時速60km/hで走行すると仮定
人口：国勢調査2020年

整備を進める主な路線の代表路線

長生グリーンラインの開通により期待される効果

“交通の円滑化”と“地域医療サービスの向上”が期待

○交通の円滑化及び安全性が向上

○一宮町役場～東千葉メディカルセンターまでの搬送時間が19分短縮



■長生グリーンラインの整備効果

■交通の円滑化及び安全性の向上

整備前

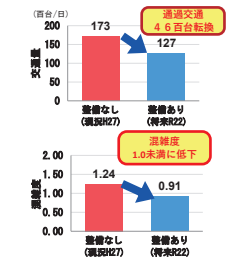
- ・現道の国道128号、国道409号では、旅行速度が県平均（28.9km/h）を下回る区間があり、交通渋滞が発生。
- ・現道の国道128号、国道409号では、の死傷事故率は、千葉県平均（43.1件/標台キロ）を上回る区間が多く存在。

整備後

- ・交通の転換による交通の円滑化
- ・交通渋滞緩和による安全性の向上



■茂原一宮道路整備前後の交通量・混雑度

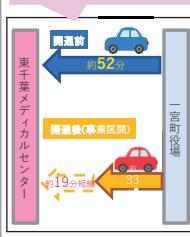


■東千葉メディカルセンターへの30分到達圏の拡大



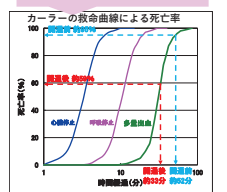
■搬送時間の短縮

一宮町役場～東千葉メディカルセンターまでの搬送時間が約19分短縮



■搬送時間の短縮による救命率の向上

搬送時間が19分短縮し、多量出血による重症患者の救命率が約90%向上



整備を進める主な路線の代表路線

国道296号（八千代バイパス）の開通により期待される効果

“交通の円滑化・渋滞緩和”と“移動時間短縮”が期待

○交通混雑が緩和し、安全性が向上

○新たな物流ネットワークの構築により、時間信頼性が向上



■八千代バイパスの整備効果

■八千代バイパス整備後の交通の転換



■八千代バイパス整備後の

千葉ニュータウン～佐倉第三工業団地の物流ネットワーク

